

とりがい秀夫の地域ニュース

南千住8-3-3-201 電話090(1201)1297

携帯メール torigaihideo@ezweb.ne.jp



27年3月14日は周辺交通体系大躍進 常磐線一部列車 南千住駅～品川迄延伸 12月中旬ダイヤ発表

10月31日JR東日本は、現在、上野駅で終着となっている常磐線・高崎線・宇都宮線の東京～品川駅までの延伸計画「上野・東京ライン」の概要を発表しました。それによりますと、開業は27年3月14日(土)に決定 常磐線については上野～東京～品川駅まで、高崎・宇都宮線は横浜方面に伸びる東海道線との相互直通運転を実施 朝の東京駅着8～9時の通勤時間帯5本を品川駅まで延伸 日中時間帯は一部の列車を品川駅まで 夕方からは全列車品川駅まで始発から最終まで全部の列車が品川駅まで行くのではない。という事です。



北陸新幹線も開業 東京～金沢・2時間28分 自民党荒川区議団の運動実る

平成20年自民党荒川区議団は崎山都議・松島衆議院議員とともにJR東日本本社を訪ね当時の副社長と面会し南千住など区内の駅に停車している列車が上野駅だけの終着駅にならないよう強く要望を行いました。今回の開業に関して、一部の停車とはいえ取りあえず延伸できたことで、今後も要望をしていきます。



奥の細道芭蕉旅立ち記念イベント続く

町人姿で千住大橋渡り～

予約した方には記念撮影・当時の町人姿の衣装での橋渡りなどの特典があります

予約なし直接の方 10時40分頃に千住大橋現地に集合して下さい

日時 11月30日【日】10時30分～12時

集合 南千住図書館内ふるさと文化館

電話で申し込み 3802-3111内線2521【既に締切か】

芭蕉旅たちの謎に迫る～討論会

電話で申し込む方

3802-3111内線461-

日時 11月30日【日】14時30分～16時

集合 素盞雄神社



～南千住駅前に「芭蕉旅立ち像」来年3月完成

深川の芭蕉庵をたたみ芭蕉が旅立ちをしたのは
今から320年前、元禄2年3月27日（現在の5月16日）45歳の芭蕉が弟子の曾良を伴い、江戸から東北、北陸を巡り岐阜の大垣迄の旅を表したのが「おくのほそ道」です。芭蕉像は足立区を始め関係する多くの自治体にあります。近年、荒川区におい

ても多くの関わりがあることが判明し、来年南千住駅前に像を建てる事になりました。予算は約500万円、制作を区内在住の彫刻家、平野千里先生に依頼しました。



～芭蕉サミット開催～荒川区がホスト区に

27年3月14日(土)30自治体超が荒川区に集結

～当日開業の北陸新幹線で来る首長も～

あーていすとローナ
世界的アーティストLo / anaから貴方へ素敵な
ミニチュア シュ をお届けしますー

品薄状態が続くヒット商品の紹介

ただ今、プレゼントに最適な Xmas スペシャル特集中！

あなたは知っていますか？「右足から靴を履くと、その日1日がラッキーになる」というジンクスを。シンデレラも右足が残っていたので王子様と幸せに！



東京ショールーム（12月1日～）

墨田区業平（スカイツリー徒歩5分位）

問合せ 03 **5610 8522**

担当 金沢・浅野

区内共通お買い物券発売

区内商店街の景気落ち込みや商店街の活性化を図るため「区内共通お買い物券」を売り出すことになりました。今回で8回目となりますが、過去7回の売り出しの時にもいずれの商店街も数時間で売り切れた実績があります。発売方法は前回と同じで、お買い物券はステッカーのあるお店で使えます（写真参照）残念ながら今の所、汐入の三徳始めスーパーでは



ほとんど使えませんが、ファミリーマート始めコンビニでは使える店が多くなっています。ララテラスは区内商店街には未加入のため使えません。

発売は 11月30日【日】10時～

券は1万円で1万1,000円分となります（500円券×22枚）。べるぽーと汐入商店街は300セットの販売。コツ通り商店街始め各商店街も売り出します。

今回の発売枚数は全部で10,000冊。これを各商店街に分けます。区としては商店街振興策のため、区内共通お買い物券に1千万円を補助しています。

大衆を虜にした娯楽の殿堂 昭和の「映画館」荒川区内に17軒

映画界のスーパースター「高倉健」さんが他界されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。テレビ以前の昭和30年代の娯楽といえば、まさに「映画」。区内には南千住・町屋・三河島・日暮里・尾久町を中心に17軒の映画館が常設されていて、南千住には3館がありました。【写真上はコツ通り中程の**大橋映画劇場**は昭和26年創立で300定数・中は泪橋近くにあった**南千住文化**は450定数・下はジョイフル三ノ輪中程の**三ノ輪映画劇場**は昭和12年創立で499定数】でした。当時の「映画街」の中心は浅草六区であって、封切はすべて浅草・日比谷・上野の映画館で上映していました。当然、一部のファンの観客層はそれらの場所へわざわざ出かけて行って観るといったような具合でした。浅草の近隣に位置していながら区内での映画館が生き残っていたのは、荒川区内の映画館のほとんどがセカンドランあるいはサードラン程度の物を上映していたようで、入場料も50円位の低廉な価格で2~3作品を上映していたからではないでしょうか。現在の団塊世代の方以上の皆さんの中には、朝9時頃に始まった映画を3本見ると丁度昼頃で、外に出ると太陽のまぶしさで目の前が真っ暗になった記憶の方も多いのではないのでしょうか

